記載例【第3号様式別紙(第9条関係)】

賃金改善報告書

熊本県知事　木村 敬 様

令和8年5月1日

1 報告者

開設者名(法人の場合は法人名)	社会医療法人〇〇会	↓〈ご担当者〉※日中連絡の取れる方の情報を記載してください。			
代表者 職・氏名 (個人開設の場合は不要)	理事長　熊本　太郎	担当部署	法人事務局　医療政策課	担当者氏名	熊本　次郎
法人:法人の所在地 個人事業者:施設等の所在地	郵便番号:〒 862-8570	電話番号(携帯可)	123−456−7890	FAX	123−456−0987
	住所: 熊本市中央区水前寺6丁目18−1				mamoto.lg.jp

令和7年12月1日以降実施したベースアップの実施までの期間に職員へ特別手当を支給した場合、その金額の平均値をご記入ください。

令和7年12月1日以降実施したベースアップの実施までの期間に職員へ一時金当を支給した場合、その金額の平均値をご記入ください。

2 賃上げ支援事業実績

施設等の名称	所在地	(1)ベ				(2)特別手当実績				(3)一時金実績		
		A.令和7年12月1日以降、ベースアップした1人あたり平均額(円)	B.令和8年5月末までの間、Aのベースアップをしている月数(月)	C .Aのベースアップをした人数(名)	スアップ実績(円) (A*B*C)	E.支給した特別手当の平均額(円)	F.特別手当を支給した月数(月)	G.特別手当を支給した人数(名)	H.特別手当実績額(円) (E*F*G)	支給した一時金の平均額(円)	J.一時金を支給した人数(名)	K.一時金実績額(円) (I*J)
医療政策クリニック	熊本市中央区水前寺6丁目18−1	5,000	4	10	200,000					3,000	4	12,000
					0				0			
					0				0			
				(1)合計	200,000			(2)合計	0		(3)合計	12,000

令和7年12月1日以降実施したベースアップの幅が、役職ごとに異なる場合は加重平均した値をご記入ください。
(例)
・技師のベア幅:5,000円:人数20人
・主任技師のベア幅:7,000円:人数10人
・主幹のベア幅:10,000円人数5人
(5,000*20+7,000*10+10,000*5)/(20+10+5)
=(100,000+70,000+50,000)/35
=220,000/35≒6286
加重平均ベア幅:6,286円

支給申請書【第一号様式】中の「賃上げ支援:申請額」を記入ください。

施設等の名称	所在地	(4)令和7年3月31日時点の賃金水準と比較した2.0%を上回るベースアップ実績								(5)賃上げ実績計(円) (1)+(2)+(3)+(4)
		L.令和7年3月31日時点の賃金水準(賃上げ対象者の平均値)(円)	M. Lの金額と比較して、令和7年4月1日から11月30日の間ベースアップした平均額(円)	N.ベースアップ率 (M÷L)	O. (N - 2.0%)	P.2.0%を上回ってベースアップした平均額 (円)(L*O)	Q.支給額を充てる月数(最大:令和7年12月～令和8年5月の6ヶ月)(月)	R.Mのベースアップをした人数(名)	R.R7年度2.0%超ベースアップ実績額(円) (P*Q*R)	242,000
医療政策クリニック	熊本市中央区水前寺6丁目18−1	200,000	5,000	2.5%	0.5%	1,000	6	5	30,000	
0	0									(6)賃上げ支給額計(円) (支給申請書に記載した金額)
0										150,000
0										
								(4)合計	30,000	(7)返還額(円) (6)-(5) ※マイナスの場合は空欄
										0

令和7年4月1日から11月30日の間のベースアップした職員の、ベースアップ前の賃金平均をご記入ください。

令和7年4月1日から11月30日の間のベースアップ金額をご記入ください。役職ごとにベースアップ額が異なる場合は加重平均した値をご記入ください。

(5)賃上げ実績総額計(円)が、(6)賃上げ支援総額計(円)に満たない場合は、差額を記入してください。データで作成する場合は自動で入力されます。
(※)この金額は、県へ返還していただく必要がございますので、返還が生じないよう支給総額以上の賃上げを実施してください。

□…(1)および(4)に記載したベースアップについて、実施後の水準を令和8年6月1日以降、維持ないし拡充しています。

↑チェックマーク☑を記入してください